

事前評価報告書

令和3年10月 5日（火）

研究種別	総理研課題	
研究課題名	富士山噴火の減災に資する実験教材の開発	
研究期間	令和4年度 ～ 令和6年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.0
2	研究内容の新規性	3.4
3	研究目標、研究計画の妥当性	3.6
4	研究体制、研究予算の妥当性	3.6
	総合評点	3.7
[評価所見]		
<p>富士山の噴火を想定した山梨県特有の課題に取り組む融合研究であり、総理研の研究課題として意義がある。また、富士山火山防災マップの改訂が行われた直後であり時宜を得ていること、小中学生の火山防災教育の必要性も高いことから意義がある。</p> <p>研究体制、スケジュール、教育現場での実証など、研究計画がよく練られている。また、事前の準備も十分なされており研究成果が期待できる。</p> <p>県民の間で富士山噴火への不安の高まりも予想されるので、研究成果については、随時、マスコミ等も用いながら広く発信してほしい。</p>		